

『時代の「見えない危機」を読む』刊行記念

リソなアセットマネジメント運用戦略部
チーフ・ストラテジスト、チーフ・エコノミスト

黒瀬浩一セレクション

CORONAVIRUS
FINANCIAL
CRISIS

歴史観を持って 経済を読み解く

『時代の「見えない危機」を読む』刊行記念フェア

慶應義塾大学出版会

ブックフェアリスト



慶應義塾大学出版会

激動する世界経済・市場のダイナミズムを把握し、金融危機などの大きなリスクを見極めるには、全体を見通す大局観や過去から情報を得る歴史観が必要となります。

本フェアでは、これらの視野を養うのに役立つ書籍を、りそなアセットマネジメント運用戦略部チーフ・ストラテジスト／チーフ・エコノミストの黒瀬浩一氏に紹介していただきます。経済書だけでなく、歴史読み物やビジネス書も取り揃えたバラエティ豊かな書籍たちを、ぜひ楽しんで読んでいただければ幸いです！

【著者&選者プロフィール】

黒瀬浩一（くろせ・こういち）

りそなアセットマネジメント（りそな銀行より出向）運用戦略部チーフ・ストラテジスト、チーフ・エコノミスト

1964年生まれ。87年、慶應義塾大学商学部卒業、同年、大和銀行（現・りそな銀行）入行。国内支店勤務、香港の証券投資現地法人での勤務、出向した公益財団法人国際金融情報センターで米国経済担当シニアエコノミストを経て、99年より一貫して信託財産運用業務に従事。2004年よりチーフ・ストラテジスト、チーフ・エコノミスト。

BSテレ東「日経プラス10」、BSTBS「サンデーニュース Biz スクエア」、BS12「マーケット・アナライズ plus+」などでマーケット動向解説での出演多数。週刊エコノミストなど経済誌への寄稿多数。ブルームバーグ、ロイターなど情報媒体でのマーケットコメント掲載、りそな銀行での講演多数。

▶りそな銀行での黒瀬浩一執筆レポート公開サイト

<https://www.resonabank.co.jp/nenkin/info/economist/index.html>

▶りそなアセットマネジメントでの黒瀬浩一執筆レポート公開サイト

https://www.resona-am.co.jp/oshirase/2020/pdf/200615_3.pdf

時代の「見えない危機」を読む ——迷走する市場の着地点はどこか

黒瀬 浩一 著

四六判仮上製 / 564 頁

本体価格 2,700 円

ISBN 978-4-7664-2677-9



時代の大きな流れを捉えなければ、短期的な相場変動に振り回される。長期的視座を伴った投資の哲学、現在の世界の覇権国・米国の経済・金融史、近年の日本経済の流れを三本柱に据え、激動の時代のトレンドを読むヒントを満載したスケールの大きな読み応え十分の現代経済論！

【主要目次】

- 序 章 歴史に潜む「危機」を見抜く
- 第 1 章 危機はなぜ見えにくいのか
- 第 2 章 戦後世界経済の牽引役・米国
- 第 3 章 何が金融市場を動かしているのか
——変貌する金融資本主義
- 第 4 章 平成の「敗戦処理」
- 第 5 章 グローバル経済の中での日本の立ち位置
- 第 6 章 ポスト爛熟資本主義を読む
- おわりに
- 参考文献

ブックフェアリスト

■米国・世界経済

米中戦争前夜

グレアム・アリソン [著] / 藤原朝子 [訳] 2,000円 ダイアモンド社 2017

2020年は庚子(かのえね)、新たな再生の年回りです。60年前の1960年は岸内閣が日米安保体制の成立と引き換えに退陣、後継の池田内閣は所得倍增計画を策定し、「吉田ドクトリン」が完成した年でした。日本の国運を規定したのは東西冷戦で、前半の30年は奇跡の経済発展、後半の30年は衰退でした。株価の動きもほぼピタリと一致します。今後数十年の世界情勢は、米中関係を軸として規定されてゆくと考えられます。日本の発展のためには、まず国際情勢を見据える必要があります。国策の過ちを繰り返してはなりません。

貿易戦争の政治経済学

ダニ・ロドリック [著] / 岩本正明 [訳] 2,400円 白水社 2019

著者は20年以上も前からグローバリゼーションの行き過ぎを問題提議し、自由貿易、国民国家、民主主義が同時には成立しえないとするグローバリゼーションのパラドックスを明らかにした。そして、経済学者には公正と公平の概念の再考を迫る一方、民衆の支持を失った左派政党には歴史の教訓を思い起こすべきだと警鐘を鳴らします。

国家はなぜ衰退するのか 上・下

D・アセモグル、J・A・ロビンソン [著] / 鬼澤忍 [訳] 各1,000円
ハヤカワ文庫 NF 2016

国家の盛衰を決定づける制度的な要因を歴史の真実に沿って解釈したものです。近年の歴史学の大きな成果の1つと位置づけられます。繁栄するためには何が必要かは、既に明らかです。

大分断

タイラー・コーエン [著] / 池村千秋 [訳] 2,400円 NTT出版 2019

有名経済学者である著者は、「現状満足階級」が主流となった社会は衰退する、その先頭ランナーは日本で米国は追いかけている、と主張します。表面的な経済の背後にある社会と文化の病理に迫り、分断の恐ろしさに改めて警鐘を鳴らしました。

社会と経済

マーク・グラノヴェッター [著] / 渡辺深 [訳] 3,500円 ミネルヴァ書房 2019

GAFAX BATH 米中メガテックの競争戦略

田中道昭 [著] 1,500円 日本経済新聞出版社 2019

サピエンス全史 上・下

ユヴァル・ノア・ハラリ [著] / 柴田裕之 [訳] 各1,900円 河出書房新社 2016

中国S級B級論

高口康太 [編著] / 伊藤亜聖・水彩画・山谷剛史・田中信彦 [著] 1,500円 さくら舎 2019

入門・世界システム分析

I・ウォーラーstein [著] / 山下範久 [訳] 2,500円 藤原書店 2006

アメリカ経済 成長の終焉 上・下

R・J・ゴードン [著] / 高遠裕子・山岡由美 [訳] 上 3,600円・下 3,800円
日経 BP 2018

China 2049

マイケル・ヒルズベリー [著] / 野中香方子 [訳] 2,000円 日経 BP 2015

劣化国家

ニーアル・ファーガソン [著] / 櫻井祐子 [訳] 1,600円 東洋経済新報社 2013

大予言

吉見俊哉 [著] 840円 集英社新書 2017

新装版 大英帝国衰亡史

中西輝政 [著] 1,600円 PHP 研究所 2015

■金融論・意思決定

熱狂、恐慌、崩壊（原著第6版）金融危機の歴史

C・P・キンドルバーガー、R・Z・アリバー [著] / 高遠裕子 [訳] 3,600円
日本経済新聞出版社 2014

「金融危機の歴史」という副題がついた本書は、金融危機の歴史、危機を解決した最後の貸し手の歴史を、後知恵バイアスに陥ることがないように全体像を俯瞰したものです。歴史は繰り返す、という意味で、将来を展望する書でもあります。

群れはなぜ同じ方向を目指すのか？

レン・フィッシャー [著] / 松浦俊輔 [訳] 2,400円 白揚社 2012

オープンな社会での集合知、言い換えれば、経済的には市場経済、政治的には民主主義の優れた機能を考察したものです。偏差値信仰に基づき学歴エリートが密室でえ決める政策対応が誤りであることがよくわかります。

ビッグミステイク レジェンド投資家の大失敗に学ぶ

D マイケル・ハトニック [著] / 鈴木立哉 [訳] 1,800円 日経 BP 2019

「レジェンド投資家の大失敗に学ぶ」という副題がつけられており、失敗が赤裸々に明かされている。しかも後知恵バイアスに陥らない工夫もよくされており、投資に実践的に役立つ内容になっている。

それでも金融はすばらしい

ロバート・J・シラー [著] / 山形浩生・守岡桜訳 [訳] 2,800円 東洋経済新報社 2014

2008年のリーマンショックを受けて金融制度が抜本的に見直されました。金融が人々の厚生に役立つ、経済成長に資するようになるため、敢えて素晴らしい側面に焦点を当てた評論です。

お金は「歴史」で儲けなさい

加谷珪一 [著] 700円 朝日文庫 2019

※一部取り揃えない書籍もありますが、ご了承ください。掲載の価格は本体価格です。

続マーケットの魔術師

ジャック・D. シュワッガー [著] / 長尾慎太郎 [監修] / 山口雅裕 [訳] 2,800円
パンローリング 2012

リスク 神々への反逆 上・下

ピーター・バーンスタイン [著] / 青山護 [訳] 各 714円 日経ビジネス人文庫 2001

Think Smart

ロルフ・ドベリ [著] / 安原美津 [訳] 1,700円 サンマーク出版 2020

市場の倫理 統治の倫理

ジェイン・ジェイコブズ [著] / 香西泰 [訳] 1,500円 ちくま学芸文庫 2016

株で勝つ! 相場格言 400

西野武彦 [著] 780円 日経ビジネス人文庫 2014

大いなる不安定

ヌリエル・ルービニ、スティーブン・ミーム [著] / 山岡洋一・北川知子 [訳]
2,000円 ダイヤモンド社 2010

■日本・日本人論

シン・ニホン

安宅和人 [著] 2,400円 NewsPicks パブリッシング 2020

日本の問題点をデータで可視化し、来るべきデータ駆動経済で、どう戦略的に適応すべきかを見通しています。時代はもはや上司に忖度する必要がない「データ民主主義」が到来しています。

渋沢栄一 上 算盤篇・下 論語篇

鹿島茂 [著] 各 940円 文春文庫 2013

「答え教えて症候群」と呼ばれる症状があります。偏差値教育の結果、未知の状況に遭遇した時、欧米に1つしかない安易な答えを探すものの見方です。しかし、「東の渋沢、西の五代」、はとにも武士階級出身で、開国の時代に日本型資本主義を武魂商才として開花させました。外に答えはなく、内にヒントがあるのだと思います。

「超」入門 失敗の本質

鈴木博毅 [著] 1,500円 ダイヤモンド社 2012

きずなと思いやりが日本をダメにする

長谷川眞理子・山岸俊男 [著] 1,600円 集英社インターナショナル 2016

新世界

西野亮廣 [著] 1,389円 KADOKAWA 2018

移民とAI は日本を変えるか

翁邦雄 [著] 2,000円 慶應義塾大学出版会 2019

※一部取り揃えない書籍もありますが、ご了承ください。掲載の価格は本体価格です。



黒瀬浩一『時代の「見えない危機」を読む』（慶應義塾大学出版会）の
特設サイトはコチラ。ぜひ御覧ください！

<https://www.keio-up.co.jp/kup/gift/kiki.html>



2020.6